



第25回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣の Sugoi 人

曾於市内の Sugoi 人に Sugoi 人を紹介してもらうこのコーナー。

前回の Sugoi 人、松園さんにご紹介いただいたこの方は、「財部町でカラオケのイベントをされるそうなので、ぜひ話を聞いてみて！」とのこと。お二人は同級生だそうです。インタビュアーは、三浦恭子でお届けします。

【今回の Sugoi 人】
K.Sカラオケオフィス
須賀 和文さん



今回は、財部町下財部にあるカラオケを運営する須賀和文さんにお話をお伺いしました。開店前にお伺いすると、末吉町出身の歌手 小倉よう子さんもお店にいらっしゃって、楽しみに談笑されていました。

須賀さんは財部町で生まれ育ち、その後は都城で働いていましたが、3年前から財部町の自宅には歌を好きな人が集まり、社交場のようになっていました。自身も歌うことが好きで、せっかくなのでみんなにも友達を誘ったのがキッカケだったそうです。

「だけど、来る人から『お金をとってもらわないと週に何度もくるのは心苦しい』って言われてね。それで、去年の11月にここを開いたの。だから、儲けとかは全然考えてないよ(笑)」と須賀さん。お店には、「歌が好き」という共通点をもった人が多い時で15名ほど集まります。

「90歳の方もいてね。自分もそんな風に年をとりたいって思いますよ。熱中できること、頑張りたいと思えるものがあるのは幸せですからね。悩むのも楽しむのも、同じ人生なんだから。だったら楽しんで方がよいよ」

今年の11月には「プロの歌手と同じ舞台上で歌える機会を作りたい」と、歌手を呼んで財部町でイベントもするそう。キングレコード認定指導員の資格をもつ須賀さんだからこそ作れる機会です。わたしも「生ものの楽しみ」を見つけていきたいと思います！



認定指導

協力隊の活動報告

去年、あくまき商品開発プロジェクトなど様々なシーンでご協力いただいた曾於高校さん。今、新たに曾於高校商業科3年生と進んでいるのが…末吉町茶業青年の会から依頼があった「曾於茶のパッケージデザインをして欲しい!」というもの。5月に始まり、曾於茶についての授業、お茶入れ教室、茶畑見学などまずは「知る」ことからスタートしました。他にも、インターネットを使って、世に出ているお茶のパッケージを見て、可愛いと思うものを保存。そして「何で可愛いと思ったか」という発表もしてもらいました。現場で得た「知識」と「可愛いと思うポイント」を掛け合わせて、「曾於茶」らしいパッケージ案が出てくるといいなと、最終プレゼンが楽しみです！



2018年6月

三浦恭子

6月2日に行われた「そお学校 うどん部」についてはP13に♪